

# **自立支援医療意見書・精神障害者保健福祉手帳用診断書**

## **作成支援ツール ユーザーズマニュアル(簡易版)**

**【埼玉県版】**

Ver.1.0

(2010.01.06 発行)

# 【 目 次 】

## 1. 事前準備

### 1. 1 マクロのセキュリティ設定の変更

## 2. システムの起動

## 3. システムチェックおよび入力規制内容

### 3. 1 入力規制

### 3. 2 正当性チェック

### 3. 3 必須入力チェック

※本マニュアルは、製品の正式版マニュアルから、一部抜粋したものです。  
本マニュアルでは、「自立支援医療意見書」と「精神障害者保健福祉手帳」の操作方法是ほとんど違いがないため、基本的に「自立支援」の説明のみ記載します。  
双方で違いがある場合に限り、それぞれに分けて記載してあります。  
また、本マニュアルは、Microsoft Excelのマニュアルと合わせてご利用ください。

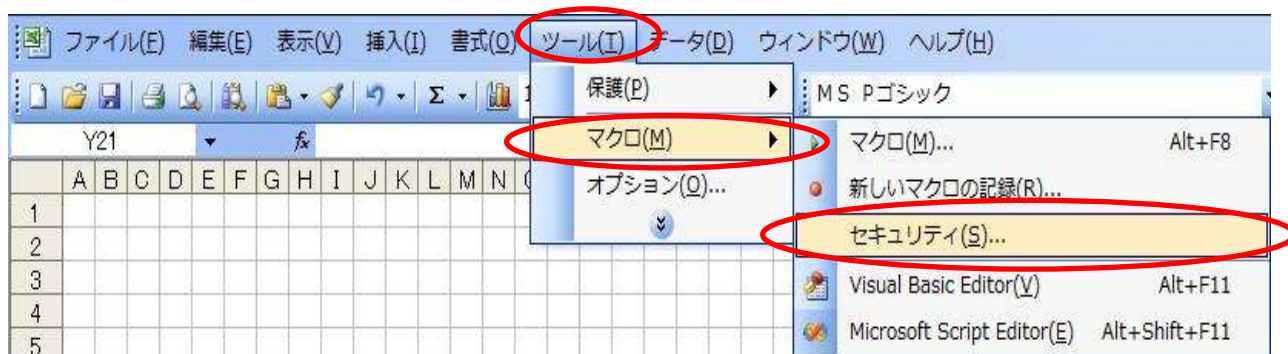
## 1. 事前準備

### 1. 1 マクロのセキュリティ設定の変更

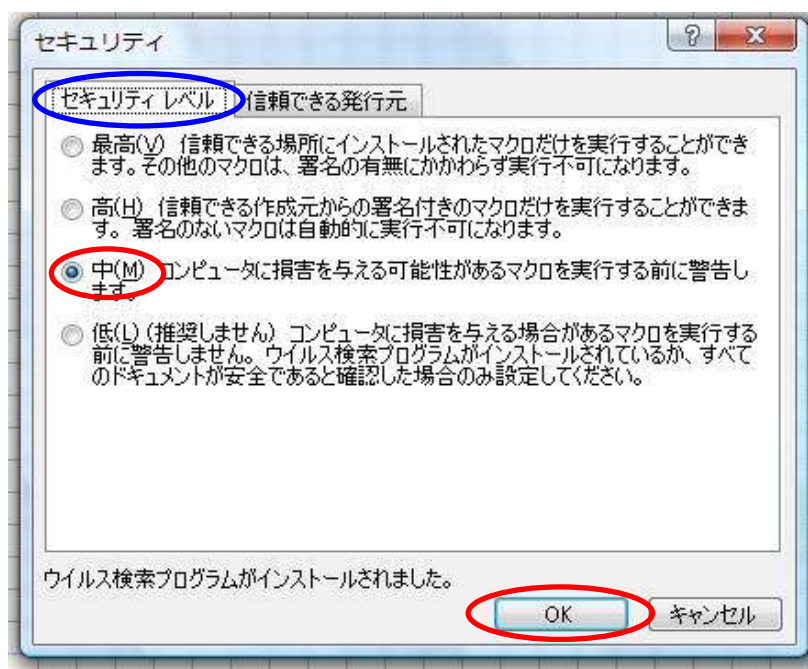
#### 【EXCEL 2003以前のバージョンの場合の設定】

①エクセルを開きます。

②メニューバーの「ツール」⇒「マクロ」⇒「セキュリティ」を選択します。



③セキュリティ設定画面が表示されますので、「セキュリティレベル」タブで、オプションボタンの「中」を選択し、「OKボタン」を押下します。

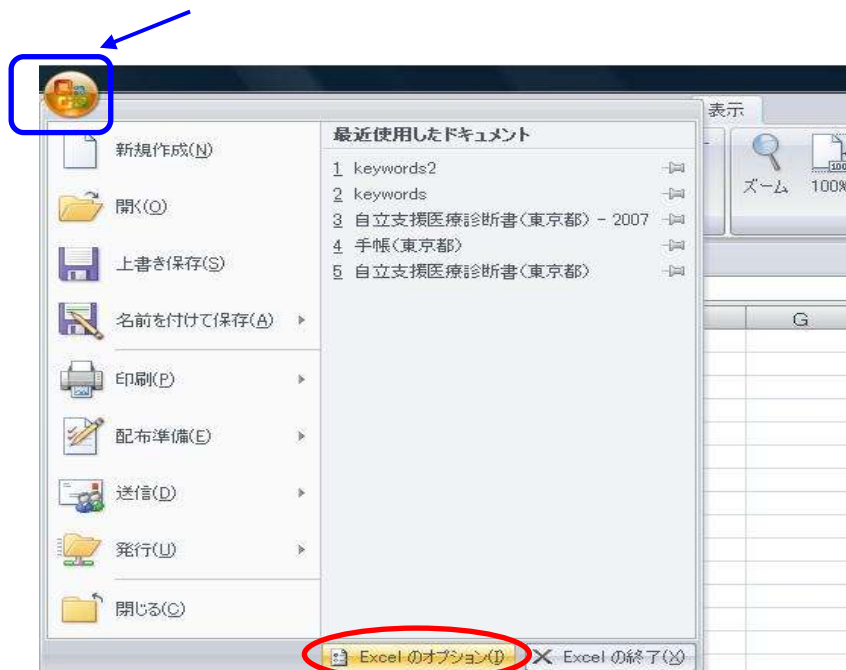


④以上でマクロのセキュリティ設定は終了です。エクセルを閉じてください。  
次回エクセルを起動したときは、上記の設定が反映された状態となります。

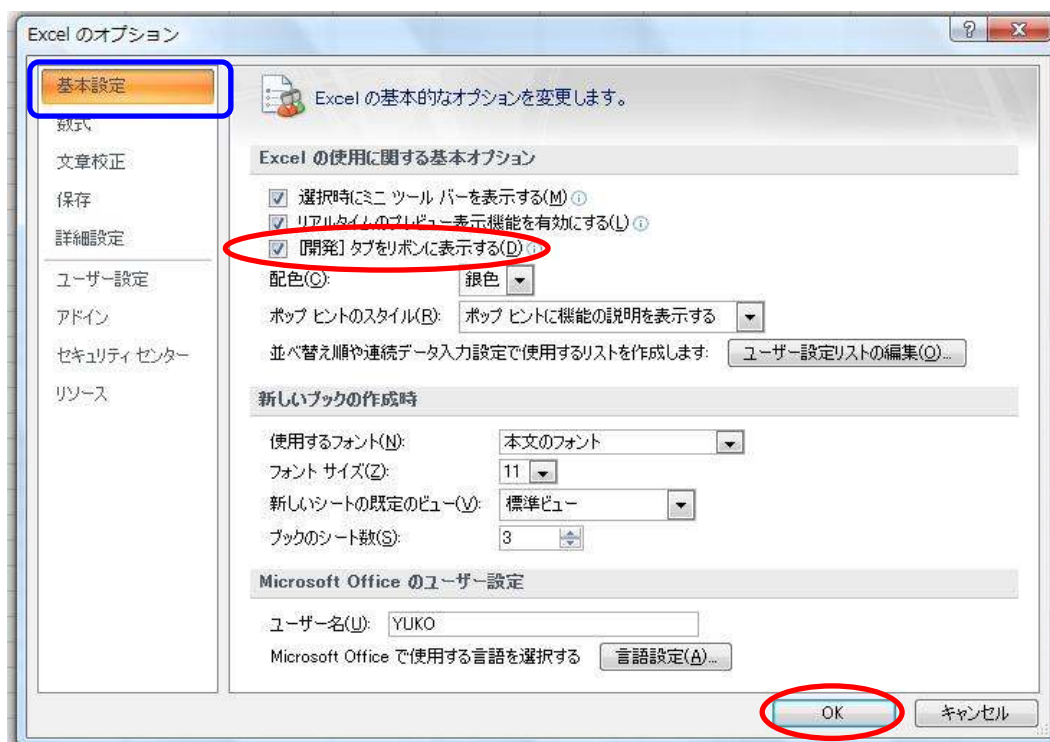
## 【EXCEL 2007の場合の設定】

①エクセルを開きます。

②画面左上にある「Microsoft Officeボタン」をクリックし、「Excelのオプション」をクリックします。

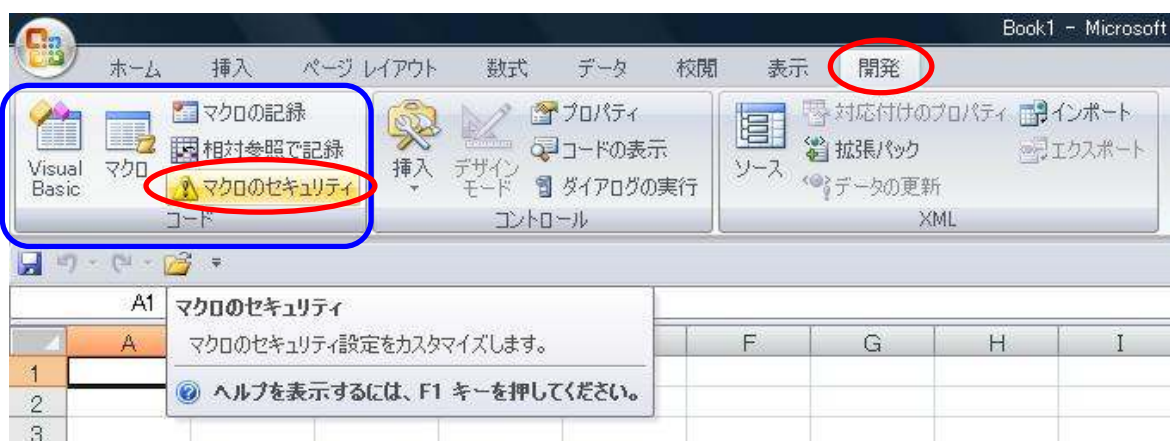


③Excelのオプション設定画面が表示されますので、「基本設定」で、「[開発]タブをリボンに表示する」のチェックボックスをチェック状態にし、「OKボタン」を押下します。

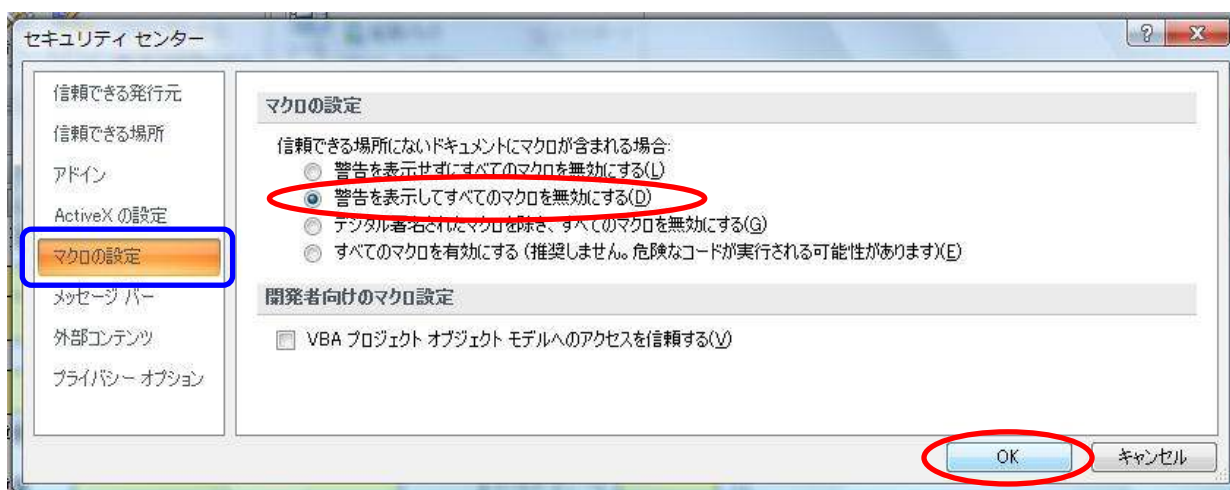


④Excelのオプション設定処理が終了し、リボンに[開発]タブが表示されていることを確認します。

⑤リボンから**「開発」**タブを選択し、**「コード」**グループの中の**「マクロのセキュリティ」**をクリックします。



⑥セキュリティ設定画面が表示されますので、**「マクロの設定」**で、オプションボタンの**「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」**を選択し、**「OKボタン」**を押下します。



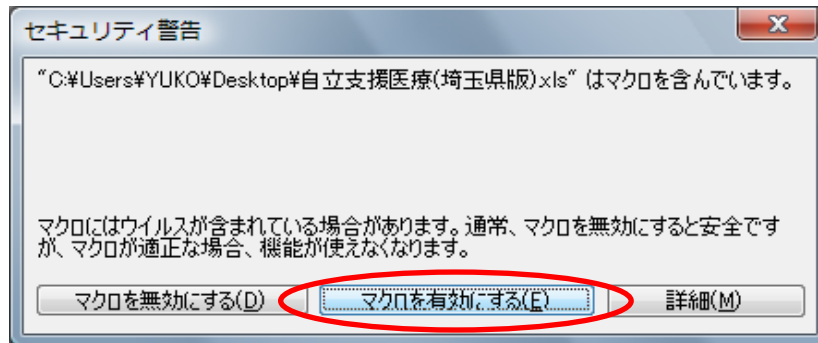
⑦以上でマクロのセキュリティ設定は終了です。エクセルを閉じてください。  
次回エクセルを起動したときは、上記の設定が反映された状態となります。

## 2. システムの起動

エクセルファイルを開けば、その他の操作は特に必要ありません。  
ただし、マクロを有効にする必要があります。  
マクロを有効にする方法を以下に示します。

### 【EXCEL 2003以前のバージョンの場合の操作】

①ファイルを開くと、セキュリティ警告画面が表示されますので、「マクロを有効にする」をクリックします。



②これでファイルが正常に開かれますので、システムの起動は終了です。



## 【EXCEL 2007の場合の操作】

①ファイルを開くと、セキュリティの警告が表示されますので、「オプション」をクリックします。

自立支援医療(埼玉県版) [互換モード] - Microsoft Excel

ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

貼り付け MS Pゴシック 11 A A 折り返して全体を表示する 標準 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル 挿入 削除 書式 セル

セキュリティの警告 一部のアクティブ コンテンツが無効にされました オプション...

CM91

意見書 (自立支援医療 精神通院用)

作成日: 平成 年 月 日 ※2

氏名 明和 大正 昭和 平成 男 女 年 月 日生 (※3 歳)

住所

① 病名 (1)主たる精神障害 病名 ICDコード (2)従たる精神障害 病名 ICDコード (3)身体合併症 病名

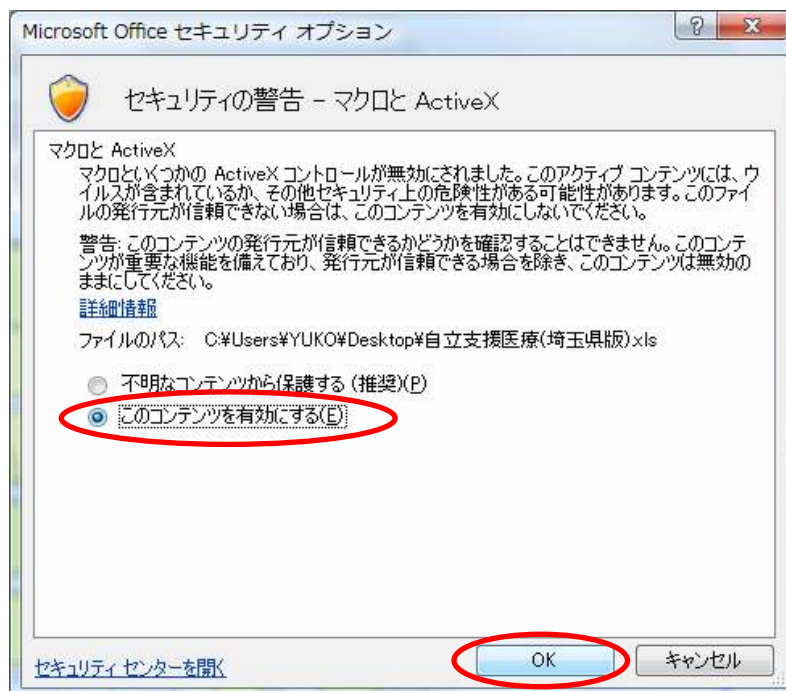
②「重度かつ継続」に関する意見(「①病名」欄のICDコード) F0 F1 F2 F3 G40 その他(上記F0～F3、G40以外の場合、以下も選択してください) 情動及び行動の障害または不安及び不穏状態にあり、計画的集中的な通院を継続的に要すると 半決定される(「重度かつ継続」に該当する場合) 半決定されない

発病から現在までの病歴 推定発病年月日 昭和 平成 年 月 頃 精神科受診歴等

推定発病年月、精神科受診歴等

上部のオプションボタンは、②「重度かつ継続」に関する意見で「その他」を選択した場合のみ選択可能となります。

②セキュリティオプション画面が表示されますので、オプションボタンで「このコンテンツを有効にする」を選択してOKボタンを押下します。



③これでファイルが正常に開かれますので、システムの起動は終了です。

自立支援医療(埼玉県版) [互換モード] - Microsoft Excel

ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

MS Pゴシック 11 A<sup>+</sup> A<sup>-</sup> 折り返して全体を表示する 標準 条件付き書式 テーブルとして書式設定 セルのスタイル 挿入 削除 書式

CM91

意見書 (自立支援医療 精神通院用)

作成日: 平成 年 月 日 ※2

氏名 氏名 明治 大正 昭和 平成 年 月 日生 (※3 歳) 男 女

住所

① 病名 (1)主たる精神障害 病名 ICDコード (2)従たる精神障害 病名 ICDコード (3)身体合併症 病名

②「重度かつ継続」に関する意見(「①病名」欄のICDコード)  
☐ F0 ☐ F1 ☐ F2 ☐ F3 ☐ G40  
☐ その他(上記のF0～F3、G40以外の場合、以下も選択してください)  
 ● 情動及び行動の障害または不安及び不穏状態にあり、計画的集中的な通院を継続的に要すると  
☒ 判定される(「重度かつ継続」に該当する場合)  
☐ 判定されない

発病から現在までの病歴 推定発病年月日 昭和 平成 年 月 頃 精神科受診歴等

推定発病年月、精神科受診歴等

上部のオプションボタンは、②「重度かつ継続」に関する意見で「その他」を選択した場合のみ選択可能となります。



### 3. システムチェックおよび入力規制内容

本システムでは、大きく3つのチェック(入力規制も含む)を行っています。  
以下に、チェック内容について記載します。

#### 3. 1 入力規制

入力不可のものについては、入力時にメッセージを表示します。  
入力ミスをできるだけ削減するための入力規制機能です。

##### **【自立支援医療意見書】**

|           |  |
|-----------|--|
| ①作成日      | 年:22以上の整数のみ入力可<br>月:1～12までの整数のみ入力可<br>日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ②生年月日     | 年:1以上の整数のみ入力可<br>月:1～12までの整数のみ入力可<br>日:1～31までの整数のみ入力可  |
| ③推定発病年月   | 年:1以上の整数のみ入力可<br>月:1～12までの整数のみ入力可                      |
| ④精神医療従事年数 | 整数のみ入力可  |

##### **【精神障害者保健福祉手帳】**

|         |  |
|---------|--|
| ①作成日    | 年:22以上の整数のみ入力可<br>月:1～12までの整数のみ入力可<br>日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ②生年月日   | 年:1以上の整数のみ入力可<br>月:1～12までの整数のみ入力可<br>日:1～31までの整数のみ入力可  |
| ③初診年月日  | 年:1以上の整数のみ入力可<br>月:1～12までの整数のみ入力可<br>日:1～31までの整数のみ入力可  |
| ④推定発病年月 | 年:1以上の整数のみ入力可<br>月:1～12までの整数のみ入力可                      |

### 3. 2 正当性チェック

入力時のみのチェックが難しいものについては、印刷用シート作成処理の中でチェックを行います。  
入力ミスをできるだけ削減するためのチェック機能です。

#### 【自立支援医療意見書】

- ①作成日
  - ・日付の正当性チェック(例えば、4月31日がエラーになる等)  
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04101)
- ②生年月日
  - ・日付の正当性チェック(同上)  
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04102)
  - ・和暦年号との連動チェック  
年号が「明治」の場合:年については、1～45までの整数のみ正当  
年号が「大正」の場合:年については、1～15までの整数のみ正当  
年号が「昭和」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当  
年号が「平成」の場合:年については、1以上の整数のみ正当  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04103)
  - ・作成日との連動チェック  
「生年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04104)
- ③推定発病年月
  - ・和暦年号との連動チェック  
年号が「昭和」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当  
年号が「平成」の場合:年については、1以上の整数のみ正当  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04105)
  - ・作成日との連動チェック  
「推定発病年月」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04106)
  - ・生年月日との連動チェック  
「推定発病年月」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04107)
- ④主たる精神障害
  - ・ICDの正当性チェック(F0～F9、G40のみ正当)  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04108)
- ⑤従たる精神障害
  - ・ICDの正当性チェック(F0～F9、G40のみ正当)  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04109)  
※ただし、「従たる精神障害」は必須入力項目ではないため、上記のチェックは「従たる精神障害」が入力されていた場合のみ行う。
  - ・入力チェック  
「従たる精神障害のICDコード」が正しく入力されていて、かつ「従たる精神障害」が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04110)

## ⑥現在の病状、状態像等

### (1)抑うつ状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04111)

### (2)そう状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04112)

### (3)幻覚妄想状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04113)

### (4)精神運動興奮及びこん迷の状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04114)

### (5)統合失調症等残遺状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04115)

### (6)情動及び行動の障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04116)

### (7)不安及び不穏

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04117)

### (8)けいれん及び意識障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04118)

### (9)精神作用物質の乱用及び依存

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04119)

※逆に、上記(1)～(9)までで、「その他」のチェックボックスにチェックがされていない状態で、「その他」の項目に入力がある場合は、チェックボックスがチェックされたものとみなして、印刷用シートを作成します。

## ⑦計画的集中的な治療を継続して行う必要性

②「重度かつ継続」に関する意見(「①病名」欄のICDコード)で「その他」を選択し、かつ情動及び行動の障害または不安及び不穏状態にあり、計画的集中的な通院を継続的に要すると「判定される」を選択した場合に、未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04120)

## ⑧医師の略歴 精神保健指定医番号

②「重度かつ継続」に関する意見(「①病名」欄のICDコード)で「その他」を選択し、かつ情動及び行動の障害または不安及び不穏状態にあり、計画的集中的な通院を継続的に要すると「判定される」を選択し、なおかつ「精神保健指定医」を選択した場合に、未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04121)

## ⑨医師の略歴 精神医療従事年数

②「重度かつ継続」に関する意見(「①病名」欄のICDコード)で「その他」を選択し、かつ情動及び行動の障害または不安及び不穏状態にあり、計画的集中的な通院を継続的に要すると「判定される」を選択し、なおかつ「精神医療従事年数」を選択した場合に、未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04122)

※「計画的集中的な治療を継続して行う必要性」と「医師の略歴」は、②「重度かつ継続」に関する意見で、「その他」の「判定される」を選択した場合のみチェック対象となり、その他の場合は入力されていても無視します。  
印刷時にも表示されません。

## 【精神障害者保健福祉手帳】

- ①作成日
- ・日付の正当性チェック(例えば、4月31日がエラーになる等)  
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04201)
- ②生年月日
- ・日付の正当性チェック(同上)  
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04202)
  - ・和暦年号との連動チェック  
年号が「明治」の場合: 年については、1～45までの整数のみ正当  
年号が「大正」の場合: 年については、1～15までの整数のみ正当  
年号が「昭和」の場合: 年については、1～64までの整数のみ正当  
年号が「平成」の場合: 年については、1以上の整数のみ正当  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04203)
  - ・作成日との連動チェック  
「生年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04204)
- ③初診年月日
- ・日付の正当性チェック(同上)  
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04205)
  - ・和暦年号との連動チェック  
年号が「昭和」の場合: 年については、1～64までの整数のみ正当  
年号が「平成」の場合: 年については、1以上の整数のみ正当  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04206)
  - ・作成日との連動チェック  
「初診年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04207)
  - ・生年月日との連動チェック  
「初診年月日」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04208)
- ④推定発病年月
- ・和暦年号との連動チェック  
年号が「昭(昭和)」の場合: 年については、1～64までの整数のみ正当  
年号が「平(平成)」の場合: 年については、1以上の整数のみ正当  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04209)
  - ・作成日との連動チェック  
「推定発病年月」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04210)
  - ・生年月日との連動チェック  
「推定発病年月」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04211)
- ⑤主たる精神障害
- ・ICDの正当性チェック(F0～F9、G40のみ正当)  
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード: ES04212)

⑥従たる精神障害

・ICDの正当性チェック(F0～F9、G40のみ正当)

上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04213)

※ただし、「従たる精神障害」は必須入力項目ではないため、上記のチェックは「従たる精神障害」が入力されていた場合のみ行う。

・入力チェック

「従たる精神障害のICDコード」が正しく入力されていて、かつ「従たる精神障害」が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04214)

⑦現在の病状、状態像等

(1)抑うつ状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04215)

(2)そう状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04216)

(3)幻覚妄想状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04217)

(4)精神運動興奮及びこん迷の状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04218)

(5)統合失調症等残遺状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04219)

(6)情動及び行動の障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04220)

(7)不安及び不穏

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04221)

(8)けいれん及び意識障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04222)

(9)精神作用物質の乱用及び依存

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04223)

※逆に、上記(1)～(9)までで、「その他」のチェックボックスにチェックがされていない状態で、「その他」の項目に入力がある場合は、チェックボックスがチェックされたものとみなして、印刷用シートを作成します。



⑧生活能力の状態

(1)現在の生活環境

「入所」が選択されていて、かつ「施設名」が未入力だった場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04224)

「入所」が選択されていない状態で、かつ「施設名」が入力されている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04225)

「その他」が選択されていて、かつ「その他」の項目が未入力だった場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04226)

「その他」が選択されていない状態で、かつ「その他」の項目が入力されている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04227)

⑨現在の精神保健福祉サービスの利用状況

「その他」が選択されていない状態で、かつ「その他」の項目が入力されている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES04228)

### 3.3 必須入力チェック

必須入力項目で、未入力状態のものがあつた場合には、エラーメッセージを表示します。  
入力忘れを削減するためのチェック機能です。

以下に示す項目が必須入力項目となります。

#### **【自立支援医療意見書】**

- ・作成日
- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所
- ・主たる精神障害、ICDコード
- ・推定発病年月
- ・発病から現在までの病歴(精神科受診歴等)
- ・現在の病状、状態像等  
    チェックボックスが1つも選択されていない状態だった場合、エラーとする
- ・病状・状態像の具体的程度、症状等
- ・現在の治療内容 (1)投薬内容
- ・現在の治療内容 (2)精神療法等
- ・今後の治療方針

※上記の必須入力エラーについては、全てエラーコード:EH04101

#### **【精神障害者保健福祉手帳】**

- ・作成日
- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所
- ・主たる精神障害、ICDカテゴリー
- ・初診年月日
- ・推定発病年月
- ・発病から現在までの病歴(精神科受診歴等)
- ・現在の病状、状態像等  
    チェックボックスが1つも選択されていない状態だった場合、エラーとする
- ・病状・状態像等の具体的程度、症状等

※上記の必須入力エラーについては、全てエラーコード:EH04201